

看護師20年・3人の子育てお母さん

# 藤田りょうこ

都政・医療福祉対策室長 事務所ニュース



No. 42 2017年6月15日

大田区西蒲田6-34-7 ☎3736-1494  
fax3735-4522 Twitter@ryokofujitajcp  
Facebook @ryoko.fujita.jcp



蒲田東口演説



藤田りょうこの  
対話する街かど

11日(日)16時から蒲田駅西口で、「藤田りょうこの対話する街かど」(街かどトーク第三弾)が開かれ、藤田さんが豊洲、保育、学費問題などの質問に的確に回答。17時からは、「フラッシュモブ」がはじまり、70名を超える参加者が「アイラブ憲法、選挙に行こう」とオレンジ色のハートをかかげてコールし、アピールしました。

9日、小池晃書記局長を迎えての蒲田東口演説は、1500名の聴衆であふれ、藤田りょうこ、佐藤伸を何としても都政に押し上げようとの熱気に包まれました。小池氏

は憲法9条改悪、豊洲移転問題、「逆立ち都政」の3大争点を示し、藤田、佐藤にその願いを託してほしいと訴えました。看護師20年の藤田りょうこさんは区内の認可外

保育園でのこどもの死亡事故にふれ、「二度とこのような事故は起こさせない。自公による命をないがしろにする政治を変えていこう」と訴えました。

## 小池書記局長蒲田で訴え



右から小池書記局長、藤田りょうこさん、佐藤伸さん(9日)

藤田りょうこ・佐藤伸の二人を  
必ず都政へ



大盛り上がる「対話する街かど→フラッシュモブ」

# 藤田りょうこさんを何としても都政へ

わたしも  
応援  
します!

築地を守る大田区の二人にエール

東京中央市場労働組合 委員長 中澤 誠

築地市場の豊洲移転問題は、建物が建ってしまったから、都民の運動で大問題となってきた。共産党都議団が撮影した地下空洞の写真がなかったら、こういふ騒ぎにならなかった。

## 築地の現在地整備こそ必要

豊洲移転計画は巨大なうそです。盛り土もなかった。地下水を管理すると言っていたけど、水位が上がっている。土壌汚染も全部除去すると言っていたのに失敗した。

早期移転を叫ぶ自民党による築地市場のネガティブキャンペーンに、市場業者みんなが怒って



「どうする? 築地・豊洲」集会にて。左が中澤誠さん(5月31日)

います。

市場問題プロジェクトチームは「現在地再整備はできる。」

(施設の仮移転に必要な) 種地も十分にある」と説明しました。

だったら、築地市場の現在地再整備こそ必要です。築地の再整備は7〜800億と試算されて

いるが豊洲を稼働すればそれ以上に莫大な費用がかかり、汚染を完全に取り除くのは不可能で

す。

## 物流効率に優れた築地市場

市場移転問題は東京だけの問題ではなく、全国民に直接影響する問題です。築地市場は物流効率に優れたすばらしい卸売市場です。この後の50年百年後の世代に何を残すかが問われています。

## 共産党の議席が築地を後押し

何としても築地を守り抜く決意です。共産党の議席がそれを後押ししてくれると信じています。

都議会で奮闘されたかち佳代子都議のバトンを引き継ぐ大田の藤田りょうこさんと佐藤伸さんの都政への挑戦を期待します。

## 告示まで8日

本番直前です。駅頭宣伝で他党派を圧倒する大勢のみなさんの参加をお願いします。



京急蒲田駅東口の陸橋上で演説しました(6月12日朝)→

## 《藤田りょうこの 駅頭宣伝》

※雨天中止または変更の場合あり

### 朝の駅頭 7時30分~8時30分

- 6月16日 (金) 鵜の木駅
- 19日 (月) 雪谷大塚駅
- 20日 (火) 雑色駅
- 21日 (水) 武蔵新田駅

### 夕方駅頭 17時~18時

- 6月16日 (金) 蒲田西口
- 19日 (月) 矢口渡駅
- 20日 (火) 御嶽山駅
- 21日 (水) 雑色駅

## 藤田りょうこ成長記 ④2

### 仕事、子育て40代編 藤田りょうこ

#### 都政への挑戦を決意

病棟の看護師不足で、新年から病院に戻りました。3年ぶりの病棟では、電子カルテでの書類業務が煩雑になったことに加えて、患者さんも治療や入院生活への協力が難しい方が非常に増えたことを感じました。

私が就職したときに比べると看護師も医師も増えましたが、いのちを守るために心も体もすり減らして働いているのが実態です。患者さんも身寄りがない・お金がない・住むところがないなど、深刻な生活をしている方が増えています。

政治を変えなければ医療者も患者も共倒れしてしまう、という思いで「かち佳代子都議の後継者」を引き受ける決意をしました。(41歳)

私が就職したときに比べると看護師も医師も増えましたが、いのちを守るために心も体もすり減らして働いているのが実態です。患者さんも身寄りがない・お金がない・住むところがないなど、深刻な生活をしている方が増えています。



駅伝大会予選会にて(2列目左端が私)